

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュース №.42



発行日 2016. 5. 1

桜がアットという間に散り、緑の美しい季節になりましたが、紙面は桜が満開です。今年も皆さんお花見を楽しめました。

この小さな介護事業所も事業をはじめて13年目になります。今、国会でも取り上げられているように、介護や保育事業の運営・継続が困難になっている中、「地域でなくてはならない事業所」をめざしてここまで成長できたのは、全職員の努力はもちろん、たくさんの方々に支えていただいたおかげです。皆様のお力添えに感謝申し上げるとともに今後いっそうのご支援をお願い申し上げます。

NPO 法人三郷サンサンハウス
理事長 上野 登志子
三郷町三室2-5-22
三郷町東信貴ヶ丘1-2-27
三郷町東信貴ヶ丘1-5-12
Tel /0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
<http://www.3533house.com>

さて、認定 NPO 取得については、3月に臨時総会で正会員様の承認を得て、26年度27年度の活動報告や事業計画その他必要書類を整え次第奈良県に申請する手はずで、順調に準備を進めています。大勢の方々にご協力いただき、有難うございました。

今年度の定例総会は5月22(日)午前10時からデイサービスくるみ（東信貴ヶ丘1丁目2-27）で開催します。三郷サンサンハウスの昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算等々各事業所の管理者が報告しますので、地域の皆様方も気軽に傍聴くださいますようご案内申し上げます。

3月には三郷町地域包括支援センターのご協力を得て「認知症サポーター研修」を行いました。職員、他事業所の職員、ボランティアの方々など計40余名の参加で楽しい研修となりました。

6月12日(日)のサンサン祭りでも「認知症サポーター養成講座」を開きます。たくさんのご参加を楽しみにお待ちしています。



理事長 上野 登志子

NPO法人三郷サンサンハウスを名実ともに地域のNPOとして育てていただくために、ひとりでもたくさんの会員を募集しています。あなたも是非会員にお願いいたします。

☆正会員はNPOの総会での決議権を有し、NPOの事業活動や方針決定に参加します。

☆一般会員と賛助会員は総会に参加しますが決議権はありません。正会員同様、当法人の力強い支援者、後援者であり、お目付け役でもあります。

正会員	年会費	1口 3,000円	入会金	1,000円
一般会員	年会費	1口 1,000円	入会金	1,000円
賛助会員	年会費	1口 3,000円	入会金	1,000円



三郷サンサンハウスの三つの理念

- 1 住み慣れたまちで暮らしつづけるために必要な支援を幅広く行います。
- 2 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します。
- 3 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います。

小規模多機能ホーム萌の里

★西33-3555★

今年5月28日で満91才になる義母がお世話になっています。

最初、くるみさんでリハビリのお世話になり、あかねの里さんにも行って、皆さんに可愛がってもらって喜んで行くようになり、私たち家族は一安心でした。

昨年の冬にカゼを引いて熱が上がったり下がったりで本人を一人にしておくわけにいかなくなり、治るまでヘルパーさんに助けてもらいました。

その時、「萌の里さんは何時でも対応して頂けるよ」と紹介してもらって萌の里さんに頼みました。

今は、私の仕事に行く前の朝5:30に送って行き、お昼の14:00ごろに送って来てもらっています。近くにこんなにいいところがあるのは心強いです。

毎日行かせてもらっているおかげで、少しずつですが自分の80才前半ぐらいにもどったみたいに元気になり、身の周りの整理整頓をするようになってきました。

本当にありがとうございます。

三室 濱口



萌の里に介護福祉士として入職し、5月で3年目になろうとしています。

専門学校を卒業し老人保健施設や有料老人ホーム等で経験を積んできました。子供が生まれ7年ほど現場から離れており、また介護の仕事が出来るか不安ではありましたが、やはり体が覚えていたのと周りのスタッフや利用者様が温かく丁寧に教えてくださったので、ここまで続けてくることができました。

一緒にいると楽しいです



次に働くなら地域に密着したところと思っていましたので、萌の里はまさにそのような施設でした。萌の里に長く通われている利用者様には娘か嫁かのように接して頂いています。今まで働いていたところでは、そのような関係を築くのは難しく、淡々と過ごすことが多かったです。

訪問の経験は無かったので、初めて訪問を任せられた時はとても戸惑い、わからないことが多いかったです。今も戸惑うことはありますが、私の顔を見て笑顔になってくださいり「今日はあんたか。よかったわ」等と言って下さると、ここのスタッフとして認められたのかなと、嬉しく思います。

まだ未熟なところはありますが、萌に来て「楽しかった。ありがとう」という言葉が沢山聞けるように頑張りたいと思います。

介護福祉士 金谷まゆみ



10周年記念パーティー

本年3月1日、萌の里10周年を迎え、利用者様、スタッフで盛大にお祝いすることができました。

10年間の中には数多くの出会いや別れの繰り返しがありました。私達はその一期一会の出会いを大切に喜びの糧として日々頑張って参りました。

一節に10年と云っても小学生低学年だった子どもさんをかかえ働いていたスタッフ。10年過ぎると子どもさんは立派な高校生に成長。今も小さな子どもさんを抱えながら働いているスタッフ。そんな中で萌の里が子育てしながら働く職場を担っていると自負していますが、子育て世代のみならず、年齢、障害、性別等隔たりなく働く環境作りが出来たら幸いです。

利用者様も共に年齢を重ね、以前のように頻繁に外出する機会は少なくなって来ましたが、萌の里

に来て楽しかった～！ 萌があつて良かったと云つて頂いてる言葉が嬉しいです。

先日も近隣の方が、Hさんが萌の里に通つておられるとの事で何年振りかに会われ涙を流し喜んで居られたとのエピソードがありました。このように近隣の方々が気軽に門扉をたたき、利用者様と共に過ごして頂ける、地域に開けた居場所であり続けて行きます。

管理者 那住 すみ



★☎32-3535★

居宅介護支援事業所

7月からケアマネとして頑張っている前田さんを紹介します。

初めて担当した Aさんは医療ニーズの高い方でした。入院中から病院のソーシャルワーカーや福祉事務所の生活保護担当者、各サービス事業者と連携して必要なサービス調整をしました。しかし、在宅生活が実現した矢先に再入院となりました。その間に、同マンションに暮らしていた一人息子さんも入院されて、病気が悪化して帰らぬ人となられました。

頼りにしていた大事な人を亡くした Aさんの心のケアをしながら、息子さんの遺品を病院に引き取りに行き、民生委員、マンション管理人、葬儀社などとの連絡を、動けない Aさんに代わってやってくれました。靈園へも Aさんに付き添つて骨上げのお手伝いをしました。

退院後の生活は、施設入所を視野に入れて検討していたのですが、「息子が夢に出てきて悲しんでいた。位牌のあるアパートに帰ります。」という Aさんの気持ちをくみ取つて、三郷町の自立支援事業と契約していただいて自宅に戻されました。その数日後に、息子さんの後を追うようにして逝かれたのでした。最期まで利用者に寄り添うケアマネジメントを、しっかりとやり遂げてもらったと思います。初心を忘れずに、今後の活躍に期待しています。

居宅介護事業所管理者 中川香代子

昨年7月からサンサンハウスの仲間に加わらせて頂いた前田淳子といいます。

介護の仕事に10年以上携わり一見ベテラン風ですが、実はケアマネ1年生です。

厳しくも暖かい先輩方に見守られ、楽しくお仕事をさせていただいております。



担当させていただくお宅を、月に一度は訪問してご様子をうかがったり相談を受けたりします。

車を止めやすいようにとガレージの柵を開けておいて下さったり、玄関にいつも季節の花を飾られて生活を楽しんでおられたり、また可愛いワンちゃんがしっぽをちぎれんばかりに振つて出迎えてくれたりもします。高齢になられても、病気で動作に制限があっても、ご自分の生活を大切になさっている様子や気遣いを感じ、大変勉強になる時間を過ごさせていただいています。

「今まで簡単に出来ていたことがしづらくなつた…。」

「介護保険を利用して、住み慣れた所で今まで通り暮らし続けられないだろうか…。」

「地域の他のサービスはないだろうか…。」

皆さんの??を、ご家族やサービス提供者や行政機関とも協力しながら解決していくのですが、非情な現実に立ちすくむこともありました。

そんな時、ケアマネ以外のサンサンハウスの職員も、話を聞いて役立つ情報を教えてくれ、励ましてくれて助けられました。地域に貢献しようという熱意にあふれた心強い仲間と共に仕事ができる喜びを感じています。

私もサンサンハウスの一員として、地域の皆さんのが信頼を得られるように成長していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ケアマネジャー 前田淳子

リハビリティサービスくるみ

★☎32-3535★



リハビリティくるみ～身体重心道～では毎年花見や紅葉狩りなど季節の行事を行っています。室内での機能訓練は、機能の回復を目指すことが目標ではなく、日々の生活や外出の楽しみを続けることを目標として、それを実現するための機能訓練だと考えています。そんな中で今年も天気の良い日に花見に行くことが出来ました。今回は嬉しい感想をいただきましたので、案内します。

♡毎年連れて行ってもらう花見がとても楽しみで、花見に行けた後は何日も心が温まります。みなさんも楽しみにされていると思います。

今回は歩けなかったけど行けてよかったです。

来年も楽しみにしています。

♡感謝・感激。近くでこんないいところがあるとは。知らない所にも連れて行ってもらい、天気も良くて楽しかったです。広陵町の高田川沿いに桜のトンネルになっているところも素晴らしかった。スタッフの皆さん的心配りが本当に良かったと喜んでいます。

♡足が悪くて家からはいけないのに、遠いところまで連れて行ってもらえて花を見られてよかったです。



♡何回か行ったことがある場所だったが、今年は行けてなくて、くるみから連れて行ってもらえるとは思いもしていなかった。大勢で行くことで、一緒にあちこち歩けてとても楽しかったし、満開の桜も色とりどりの珍しいチューリップも、とにかくきれいでした。花が好きなのでとてもいい思い出になりました。

♡天気が良くて桜も満開でとても良かった。行った後、新聞に馬見公園のチューリップの記事が出ていたので嫁にここに行ったのよと話しました。昔のように歩いていけなくなつたので、車で連れて行ってもらえたことが本当に幸せでした。

心温まる言葉をありがとうございます。スタッフもとても元気をもらいました。天気の都合などで行けていない曜日もありましたが、他の行事も考えていますので楽しみにして下さいね。

管理者 岡本 真弓

皆様にも
ご紹介いたします。
私はこの詩が大好きです。

ことばを	修正してゆく	消しゴムと	エントリーで	ごめんなさい	心の中を訪ね	その人の	私はいそいで	そんなとき	後になつて	気がつくことがある	人をどれほど	傷つけていたか	何気なく	言った言葉が	ことば
------	--------	-------	--------	--------	--------	------	--------	-------	-------	-----------	--------	---------	------	--------	-----

ディサービスあかねの里

★☎31-3536★

あかねの里には3台の介助用の車椅子があります。介助用というのは車輪が小さく、主に後ろから介助者が押して移動します。あかねの里では、外出時、歩くのに心配な方が主なので、介助用車椅子が活躍していたのですが、段差を超えた際は車輪が大きい方が安全…ということで、この度車輪の大きな自走式の車椅子を購入しました（やったー）(^_^)v

以前、あかねの里をご利用されていた方で、足が痛くても『車椅子なんか絶対、乗らへん！』と言われていた方が、体調が悪くなり、それでも『あかねには行く!!』と言って下さって、あれだけいやだった車椅子に乗って、来て頂いていた時がありました。玄関にかなりの段差があり、車輪の大きな車椅子を借りて頂いて、体格の良いその方の送迎をしました。



これからも、『あかねに行く!!』と言って下さる方がおられるなら、どこへでも、私達の細腕(?)で迎えに行けるよう、その方の息子さんのお気持ちも頂いて、新しい車椅子の購入となりました。

緊急時や、ちょっと必要な時に、お貸しすることも可能ですのでお声をかけて下さい。

車椅子が4台になり、気持ちも大きくなっています(笑) 管理者 岡田 登志

どなたでも、車椅子が入用の時は、あかねの里・萌の里・くるみなど

近くの事業所に声をかけて下さい



福祉タクシー

★☎32-3535★

サンサン福祉タクシーは4台の車で活動をしています。今年に入ってから、車の入れ替えをし、すべての車両が車椅子対応可能となりました。大きく変わった点が二つあります。

一つ目は介護保険外の福祉タクシーが車椅子対応になったことです。買い物やドライブ、入退院などで介護保険が使えないときも、シートに乗り換えることなく乗車が可能になり、お出かけがしやすくなりました。

二つ目は念願だった大型のリクライニング車椅子でも乗車できる車両がはいったことです。後部に補助席もあるため、付添の方も2名乗車できます。この車は、日本財団の助成をいただき配備することができました。

ドライバーも、専属の2名の他に、兼務で7名、合計9名が登録をしています。

これからも安全運転第一に、安心して、楽しくご利用いただけるよう活動をしていきます。

管理者 重松 知子

高齢者の家あかねの里

★☎31-3536★



2月から3月にかけて、高齢者の家ではアクシデント続きでした。

Nさんが右肩から右腕全体が内出血で紫色になり、手はグローブのように腫れあがりました。その次にMさんの骨折。お二人とも特にこれといった原因がわからなく、病院の先生によると高齢なので骨も脆くなっています。少し当たったりちょっとした圧力でも折れたりすることはある…とのこと。

3月に入って、Yさんがインフルエンザにかかり、部屋で食事を摂ってもらったりと、今まで以上に二人介助が必要となり、リビングに介護者がいない一瞬の間に、Kさんが立とうとされ転倒。一時的な痛みの訴えはありましたかが何とか骨折は免れました。

このことがあり、介護の重みを感じるとともに緩んでいたわけではないですが、職員一同改めて気を引き締める機会となりました。

そんな中の4月初旬、あたりは桜満開で春本番。高齢者の家でも何とかこの満開の桜をみんなで見に行こうと、天気のいい温かい日に「今日しかない」と…4人の入居者と職員2人で立野の公園の桜を見てから三室山まで花見に出かけました。

最初は、「お尻痛いわ」「堪忍して」と言われてたNさん。

車窓から見える桜に「わっ桜や！」と素早く反応。

これは、介護職員の勝手な思いかもしれません、やっぱり来てよかったです！！と感じました。

これからも嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、辛いこと、いろいろあると思いますが、入居者や今一緒に働いている仲間とともに、来年もまた三室山の桜を見たいです。（絶対に！）

管理者 春木 ひとみ



たすけあいの会

★☎32-3535★



日常生活の困りごとを、お互いさまで助け合う、たすけあいの会です。

30分の時間単位で、どなたでも利用や活動ができます。

例えば、こんなご利用があります。

- ・部屋の模様替えや大掃除
- ・通院や買い物の付添、荷物運搬
- ・同居家族がおられ生活援助を受けられない場合

さまざまなニーズに対応します。どうぞご相談ください。

利用は予約制ですが、緊急の場合にも対応できるよう、活動できる有償ボランティアさんを募集しています。

資格のない専業主婦もOK、日曜大工が趣味、力ならあるよ、などあなたの特技と余暇の活用でたすけあいの町づくりをしていきませんか。

ご都合のよい時間で活動できますので、登録をよろしくお願い致します。

管理者 重松知子



サロンでは定期的に、外食、お買い物、お花見などドライブに出かけます。少し肌寒い日が続き、満開の桜が見られるか心配でしたが、なんと！満開の桜に出会いました。「わ～！きれい、今年も満開の桜が見られてうれしい。」と大感激でした。その後は、オカモトガーデンで、春の花にふれ、楽しい1日を過ごしました。

2月に遅まきながら、新年会を開きました。総勢22名で、麻雀サロン・サンサン体操の利用者さんもたくさん参加くださいました。初対面の方も多く、はじめは緊張気味でしたが、緊張が解けるとにぎやかな新年会になりました。



にぎやかな新年会

新年早々一人の利用者さんが、グループホームに入居され、寂しい思いをしていましたが、このように、サロンの事をおぼえていて遊びにきてくださる方もいて、とても嬉しかったです。

サロンは、ホッと一息「いこいの場」をモットーに、気軽に立ち寄ってもらえるようにしていきたいと思います。皆さんお待ちしています。

柳 美保

麻雀サロンの利用者さんは、4人で卓を囲み、自分以外の3人の動きを読みながら戦略を考え、脳トレに励んでいます。サンサン体操の利用者さんも、脳に直結していると言われる指の体操から始め、脳の活性に努めています。

先日、サロンを利用されていたMさんが訪ねてこられました。「お久しぶり！お元気でしたか。」とお茶を飲みながら、お喋りに華がさきました。



靴下のわっかを使いマット作り

サロンは、ボランティアの皆様に支えていただいているおかげで、事業が継続できています。少しの時間でも、お手伝いいただけるかたを募集しています。

ボランティアとしてサロンで特技を活かし、一緒に楽しんでいただける方は、是非ご連絡ください。

月曜日・木曜日 10時～15時

月曜日 10時～12時 麻雀

火曜日 10時～12時 サンサン体操

第3火曜日 13時30分～15時30分 サンサン体操（美松ヶ丘自治会館）

ヘルパーステーション



★☎32-3535★

週に1回入浴介助で訪問しているAさんは、歩行中に階段から転落、後遺症で足のしびれや筋力低下、ふらつきなどのある方です。室内では車椅子を使用されていますが、奥様と共に歩行練習をなさっています。いつもの様に入浴介助に入ったヘルパーから、以前よりも息苦しそうで、浮腫みがひどく足の指先の変色も進み気になるとの報告がありました。直ぐにケアマネジャーに連絡しました。

以前からケアマネジャーが毎月の訪問時に受診を勧めていましたが、なかなか実現できずにいました。けれど今回は迅速な対応でやっと受診にこぎつけたのです。すると入院が必要で、血流を良くするための手術をしなければならないとのこと。手術も無事終わり4日ほどで退院。その後は定期的な受診もされ、顔色もよくご自宅で過ごされています。

ご家族も、「あの時に、ヘルパーさんが言ってくれたから」と喜んで下さいました。いつも様子を観察しているヘルパーだから早く気づき、医療にまで連携よく繋ぐことができたと思います。

今後も小さな気づきを大切にしていきたいと思います。

管理者 山城 章江

地域交流支援事業



★☎32-3535★

毎月第1日曜日に行っていましたサンサンカフェはしばらくお休みになります。

5月はゴールデンウイーク 6月12日はサンサン祭り

7月3日は防災の研修（9時30分～11時30分 デイサービスくるみにて）を行います。

東日本大震災や先日おきた熊本の報道を見るたびに、『自分が震災に襲われたときにどう行動するか』『備えは』と考えさせられます。事業所研修として取り組みますので地域の皆様もぜひご参加ください。研修をとおして、災害時に備え課題を解決するためのきっかけになりましたら幸いです。今後のカフェについては次のサンサンニュースでお知らせします。



職員募集

一緒に働いて下さる方を募集しています！！



- デイサービスセンターあかねの里
- 介護職員
- 小規模多機能ホーム萌の里
- 看護職員
- 事務職員
- ホームヘルパー
- デイサービスくるみの機能訓練指導員
- ドライバー（ヘルパー資格）
- 夜勤職員

常勤・非常勤など

朝・夕方だけ

時間相談に応じます

経験の有無不問

一度見学に来てくださいね～(*^▽^*)